

図書館だより

12月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○印 休館日
月曜日・祝日(23日)・月末館内整理日(25日)
年末年始休館日(12月28日～1月5日)

今月の新刊図書案内

一般図書

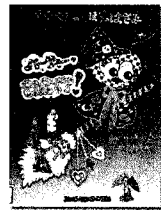
世紀末の時限爆弾
マイケル・S・ハイアット
バラ色の人生の送り方
ドミニック・グロシュエ
オウムと私
新選組戦場日記
木村幸比古
フイレントエ貴族からの招待状
山下史路

図説王家の谷百科
ニコラス・リーヴス
宣戦布告「NO」と言える日本経済
石原慎太郎
できる!と言わせる「段取り術」
安田賀計
少子高齢時代の税金・年金入門
山崎久民
晩年の研究
保阪正康
賢い母親になるための
子育ての心理学
中村延江
ウイルスは人間の敵か味方か
畑中正一
指さきあそびで若がえろう!
堤喜久雄
水博士の身体(からだ)に
よい水、安全な水
川畑愛義
楽しいキャンドルクラフト
牛島功美子
庭のない園芸家
平野恵理子
官の経営民の経営
住田正二
東寺
立木義浩
クラシックを聴け!
許光俊

市立図書館 今月の一冊

「パーティー・PARTY!!」

テリー・スザン 作
くみに・アンドレア 文 岩崎書店
子どもの創造力に働きかける、フリーハンドの切り絵を紹介しているテリー・スザンの本。ピーズやおはじき、つまようじなども利用して、
愉快なパーティー飾りを作っちゃおう。



「狂気の王国」

フリードリヒ・グラウザー 著
種村季弘 訳 作品社
精神医学花盛りの1930年代、
スイスの精神病院を舞台に繰り
広げられる異色の探偵小説。
狂気の精霊マットの支配する
むき出しの無意識の世界を描く。
スイスの名刑事シュトゥー
ダー、日本初登場作品。



日本人・小錦八十吉 山西彩司
僕はこうして日本語を覚えた
デーブ・スペクター
果つる底なき
池井戸潤
屍鬼 上・下
小野不由美
神様
川上弘美
夏のロケット
川端裕人
翔べ麒麟
辻原 登
寝ずの番
永倉万治
ゲルマニウムの夜
中島らも
生麦事件
花村万月
人生万歳 永六輔・瀬戸内寂聴
吉村 昭
ルーアンの丘 遠藤周作
女房が宇宙を飛んだ 向井万起男
パピロン行きの夜行列車
レイ・ブラッドベリ
殺人課刑事 アーサー・ヘイリー
イエロードッグ・ブルース
ウォルター・モズリー
匿名口座 上・下
クリフトファー・ライク
犬の人生 マーク・ストランド
外二五四冊
児童図書
エジソン
人間が地雷をすてる日
月の輪熊は山へ帰った!
日本の産業シリーズ・
きみの手にとどくまで 1-10
まるごとどんぐり
マジック入門
だいたいだいたいだいたいきらーい
酪農家族
さいなら天使
動物園は心の学校
北極星を目ざして
ごちゃまぜ化石事件
わたしのおへやりよう
氷山ルリの大航海
地雷ではなく花をください
続々
外八〇冊

心の健康シリーズ (68)

もう一度家庭を見直そう

家庭の在り方を 問い直す(3)

◎幼児期から小さくとも家事を担
わせ、自立心や責任感を育てよう
年々、家事を手伝う子どもが、
少なくなっています。子どもたち
に家事を担わせることは、自立心
や責任感を育む上で、大きな意義
があります。

◎朝の「おはよう」から始めて礼儀
を身につけよう
毎日きちんと親や周囲の人達に
声を出して挨拶できるように、小さ
いころからしつけましょう。

◎子どもに我慢を覚えさせよう
「子どもを不幸にする一番確実
な方法、それは、いつでも何でも
手に入るようにしてやることだ」
と言われます。

◎遊びの重要性を再認識しよう
特に幼児期から小学生段階の子
どもにとって、友達との遊びは、
心の成長に大変重要です。

現状は、遊びの孤立化、室内化
が目立ちます。従って、自然の中
での遊びや異年齢集団遊びの不足
から、地域への愛着や友達との接
し方体験が不足するなど、人格形
成に欠けている所がみられます。
地域の行事や自然との触れ合い
の楽しさに気づかせ、仲間と切磋
琢磨する機会を体験させましょう。

◎子どもの生活に時間とゆとりを
与えよう
子どもたちは、ゆとりのある自
由な時間を与えられることによっ
て、はじめて心から遊びを楽しみ、
遊び方を工夫し、のびのびと個性
や創造性を伸ばすことができます。
親は子どもを塾へ追いやるばか
りでなく、時間とゆとりを与えま
しょう。

◎豊かで多彩な体験の機会を与え
ましょう
長期にわたって親と離れ、異年
齢の子どもたちが、自然の中で切
磋琢磨する機会に、積極的に参加
させ、自立心、責任感、協調性、
忍耐力など人間性の向上に努めさ
せよう。

◎ボランティア、スポーツ、文化活
動などに参加させよう
*自分の大切さに気づかせ、社会
貢献の心を育むボランティア活動
に参加させよう。
*スポーツ、文化活動に積極的に
参加させよう。

*地域の行事に子どもたちをもつ
と積極的に参加させよう。
*働く父母の姿や、働く大人の
の姿を見せよう。

文部省発行「新しい時代を
拓く心を育てるために」より

子どもの悩みとは

教育相談室へ
(八朔屋台展示庫前)
月・金 午前9時
午後4時30分
☎(43)1323